

**編集 後記**

あまり寒くない冬が終わり、春となりました。桜の咲く時期も徐々に前倒しになっていると聞きます。春は良い季節ですが、また急に暑くなるのでは？とってしまう今日この頃です。でも、春が出発や出会いの季節であることには変わりありません。新たな環境で活動を開始された方のご活躍を祈念いたします。

第71巻4号には、総説論文1編、原著論文2編、資料1編が掲載されています。総説論文はUHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）達成に向けた各国の現状と課題について、各国の公約の進捗をレビューするという形でまとめています。日本が他国に範を示し協力することのできる分野であり、難しい面もあるようですが今後の発展が期待されます。原著論文2編はともに幼児の食に関する研究です。1編は幼児の食行動や食習慣に関する保護者の心配事を、因子分析により分類した論文です。保護者の経済的ゆとりや時間的ゆとりが心配事と関連しているのは気になるところです。もう1編は幼児について、家庭の経済状況と食品群摂取量との関連を検討した論文です。家庭の所得が低い群では穀類摂取量が多く、野菜類・果実類摂取量が少ないという、成人や児童と同様の傾向が認められました。幼児の健康的な成長のために、家庭が一定の経済的ゆとりを確保できるような対策が必要と考えられます。最後に、資料では、特定健康診査で用いられる標準的な質問票から得られた情報がどの程度活用されているのかを検討しています。ほとんどの情報が活用されているものの、保健指導の利用に対する意識を問う質問があまり活用されていない実態が報告されています。また、データヘルス計画の立案や評価に際しては、標準的な質問票の活用が十分でない指摘されています。

昨年度よりようやく様々な調査研究が実施可能になってきました。最近の研究結果をぜひおまとめ頂き、本誌にご投稿くださるよう、心よりお待ちしております。（朝倉敬子）

## 次号予告（第71巻・第5号）

## 原 著

- ナッジに基づく施策が求職者の介護職員初任者研修受講行動に与える影響に関する実証分析  
.....黄 辰悦, 他  
高校生版学級担任との日常会話尺度の開発  
.....井村 亘, 他  
高年齢介護助手雇用による介護職員の業務促進・  
阻害要素の変化と情緒的消耗感との関連  
.....高瀬麻以, 他